

あたたかなご厚志ありがとうございました。

遺志金

9月

故 林 陸雄 様 寄付 林 祐一 様
 故 吉沢 静子 様 寄付 吉沢 るみ 様
 故 井口 礼子 様 寄付 井口 恒雄 様
 故 熊井 初美 様 寄付 熊井 正樹 様
 故 土橋 薫 様 寄付 新井 清子 様

10月

故 松澤 和子 様 寄付 松澤 吉一 様
 故 中村 徳一 様 寄付 中村 勝彦 様
 故 上原 正恵 様 寄付 上原 康昌 様
 故 花岡 きよ子 様 寄付 花岡 隆範 様
 故 松下 博実 様 寄付 松下 英由 様
 故 三枝 次郎 様 寄付 三枝 馨 様
 故 百瀬 朝雄 様 寄付 百瀬 信一 様
 故 長崎 きく子 様 寄付 長崎 敏庸 様

一般寄付金

湖浜睦会 様
 曙 会 様
 下諏訪向陽高等学校 図書委員会 様
 下諏訪町連合婦人会 様

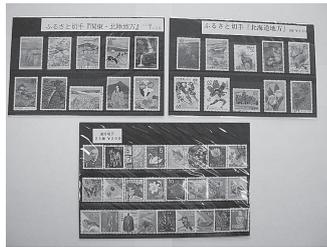
物品寄付

坪内 みよ子 様 衣類他多数
 飯田 ひさ子 様 皇室写真集
 上原 康昌 様 衣類多数
 匿名 様 タオルケット他
 たばこ組合女性部 様 タオル多数

切手のゆくえ

ご協力頂きました古切手・テレホンカードを、兵庫県神戸市にある「誕生日ありがとう運動本部」に送りました！！

「誕生日ありがとう運動本部」は、古切手を分類・整理して、古切手セット、しおりを作り、外国の方のおみやげ等に販売して、その資金で、知力ハンディキャップの啓発活動をしています。



古切手セット

古切手・テレホンカードなど、いつもご協力ありがとうございます。

グレイスフル下諏訪 ケアハウスボランティア 様
 下諏訪町連合婦人会 様
 小林 宮子 様

老人福祉センター

800個集めると...



ポリオワクチン 子ども一人分に!!

発展途上国の子どものためにワクチンを提供するボランティア活動です。

ペットボトルのキャップ回収もはじめました!



老人福祉センターで使用する手拭きや麦茶の資金になります。



ご協力頂きましたアルミ缶は、リサイクルされて...

アルミ缶のゆくえ

アルミ缶収集ご協力ありがとうございます。

大門 湯田 トシコ 様 西弥生町 宮田 輝男 様
 大門 河西 進 様 菅野町 北原 助雄 様
 大門 塩野崎 秀幸 様 湖畔町 花岡 茂 様
 東町 中村 義彦 様 社 御子柴初男 様
 矢木町 宮入 道子 様 高浜 武井 明人 様
 塚田町 小松 秀雄 様 社東町 玉川 忠男 様
 湯田町 高木 みわ子 様 社東町 丸山けさよ 様

寄稿

知ってほしい

わが愛しの い せい じん 偉星人

その66

ピアノ発表会

わが家の息子は、養護学校に通う小1の男の子です。音楽が大好きで今年から兄弟と同じピアノ教室に通い始めました。ピアノを弾く、というよりは音楽をからだで感じ楽しむ。今の息子にぴったりの楽しみかたです。太鼓をもって歩きながら♪大きな太鼓どーんどーん♪の曲・うたに合わせ太鼓を大きくはりきって叩き、♪小さな太鼓とんとんとん♪で小さく太鼓を叩く。「ありさんの太鼓かな？」と思わせてくれたり、「キャッキャ」笑いながら楽しんでいる姿をみることができます。ピアノ、エレクトーンの音を楽しむこともあるようです。一番のお気に入りには「エレクトーン」です。いろいろなリズムが楽しめて、さまざまな音がでる。こんな楽しいものはないようです。

先月は、はじめてのピアノの発表会がありました。息子にとっては初めての大きな舞台です。「ステージの上になれるのか、緊張のあまりステージにでたとたん一歩も動かなくなるのではないか」母は何日も前から「ドキドキ」していました。演奏することは大好きな息子です。本番でも楽しく演奏してほしいと、ただ願うばかりでした。兄弟がでることもあり、家の中にはピアノの音がよく流れるようになり、息子も発表会を意識しはじめたのか…ピアノにむかい、でたらめに音を奏で、椅子からおりて一礼をする。息子のなかで練習がはじまっているようでした。しかし何故か一礼のあとに、ジェスチャーで「ヨイサー」をしながら退場の練習。御柱が好きなのはわかるのですが、本番で「ヨイサー」をやるのだろうか…

はじめての発表会です。息子はトップバッターでの演奏。ピアノ教室の先生と一緒にステージに現れた…と思ったら、ずっこけた。起き上がって歩きだしたら、またずっこけた！「どうしちゃったんだろう？」母は「ドキドキ、はらはら」。なんとかエレクトーンにたどり着き演奏が始まりました。「おもちゃのチャチャ」の音楽に合わせ、大好きな笛の音でリズムを刻みました。いつもどおりの演奏でした。ステージ中央にきて一礼。「がんばったね」と安心してると…退場しながら、またずっこけた。しかもポーズ付きで。そして動かない…先生に引きずられながらの退場になりました。



振り返って考えてみました。ステージにあがり、たくさんの方がいて緊張したのだと思います。息子なりの苦肉のパフォーマンスなのでしょう。お姉ちゃんは母と一緒に「ドキドキ、はらはら」を感じ、お兄ちゃんは「おもしろい、よくあんな事できるな！」と思い、父親は大笑いしながら「こけるのは最初と最後だけでいい。ちょっとやりすぎ！」と、それぞれがわが家の偉星人の成長を感じました。

※編集にあたり、加筆・修正しております。

(下諏訪地区障害を持つ親の会 会員)